

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

健康こども未来部

【平成30年度重点目標】

重点目標	第三次上田市民健康づくり計画に基づいた健幸都市実現のための健康施策の展開		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	重点目標 第三次上田市民健康づくり計画に基づいた健幸都市実現のための健康施策の展開 ①「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進 (1)子どもの健康づくり支援 保育園運動プログラム「チャレンジキッズ」の実施 (2)若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦無料歯科検診の実施 ウ 二十歳（はたち）無料歯科検診の実施 (3)健康づくりチャレンジポイント制度の実施 (4)健幸ウォーキング事業の実施 (5)インターバル速歩実践講座事業の実施 (6)あたま・からだ元気体操の実施【実施会場1箇所増設、計7箇所】 (7)健康づくり応援サイト・アプリ構築事業（地方創生推進交付金）【新規】 ②相染閣食堂整備事業（合併特例交付金事業）【新規】 ③糖尿病重症化予防の推進 (1)市民健康づくりシンポジウムの開催（7/1（日）開催） (2)プログラムに基づいた保健指導の実施 (3)対象者（健診中断者）に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等） ④がん検診等の受診率向上強化（3年間の重点期間を設けて実施） ⑤こころの健康づくりの推進 (1)市の自殺対策計画の策定【新規】 (2)壮年期・思春期に携わる人を対象とした「ゲートキーパー養成研修」の実施 ⑥妊娠・出産包括支援事業の推進 (1)産婦人科病院と連携して進める産後ケア事業の実施【新規】	① (1)運動指導園児数：延べ1,400人 (2)-ア（社保）受診者数：500人 ※参考（国保）受診者数：350人 (2)-イ 受診者数：600人 (2)-ウ 受診者数：180人（対象者1,532人）受診率11.7% (3)新規参加者数：1,000人（総参加者数：6,000人） (4)年間参加者数：1,500人 (5)新規参加者及び継続者の底辺拡大 (6)参加者数：延べ7,000人 (7)H31年3月稼働 ②H31年3月完成 ③ (1)参加者数：350人 (2)保健指導実施者数：400人（対象者600人）実施率67% (3)受診勧奨者数：1,000人 ④医療機関に対する診療等情報提供票提出の協力要請等 ⑤ (1)関係機関との会議：2回開催、30年度内に策定 (2)参加者数：40人、フォロー研修参加者数：25人 ⑥ (1)10月から開始	① (1)運動指導園児数：延べ910人（9月末現在） (2)-ア（社保）受診者数：74人（8月末現在） ※参考（国保）受診者数：29人（8月末現在） (2)-イ 受診者数：254人（9月末現在） (2)-ウ 受診者数：69人（9月末現在） (3)新規参加者数：813人（総参加者数：5,898人）（9月末現在） (4)参加者数：421人（8月末現在） (5)新規参加者・継続者受講中 (6)参加者数：延べ5,479人（9月末現在） (7)【アプリ】8月31日プロポーザルによる業者選定実施、10月1日契約 【サイト】市HP保守管理業者と随契予定 ②8月9日入札、8月14日建設工事契約、9月20日着工、平成31年3月6日完成予定 ③ (1)参加者：412人 (2)10月より開始 (3)受診勧奨者数：400人（9月末現在） ④50医療機関回り（5月実施）、生命保険会社との連携（9月から3社） ⑤ (1)庁内関係課との会議を2回実施、10月16日に外部関係機関との代表者18名と市自殺対策計画策定検討会予定 (2)2コース計 29人 フォロー研修（前期）参加者29人 ⑥ (1)10月から開始ができるように部内関係課との協議と出産を取り扱う病院に周知する等の準備を行った。
2	重点目標 救急医療体制の整備と医師の確保による地域医療体制の充実 ①安定的な医師確保体制の整備と充実 (1)上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施及び制度の検証 (2)信州上田医療センターの医師確保事業への支援 ②救急医療体制の確保 (1)内科・小児科初期救急センターの運営と周知 (2)深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備 (3)病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援 ③地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨 ④「上小医療圏地域医療再生計画」継続事業の31年度以降の対応等について、上田地域広域連合、広域連合構成市町村及び関係機関とともに検討 ⑤在宅医療・介護連携事業の推進 在宅医療・介護連携に関連した研修会の開催	① (1)修学資金等貸与制度の維持管理及び制度の検証 通年 (2)信州上田医療センターの医師確保事業を広域連合と連携して実施 通年 ②広域連合と関係市町村と連携して事業を実施。初期救急医療と二次救急医療体制を確保する。通年 ③「知って安心・医療の仕組み」を活用し、広報を実施 通年 ④31年度以降の事業の継続等について方向性を出す。年内 ⑤1回開催	① (1)年度当初の応募がなかったため、8月から9月にかけて再募集を行ったが新規応募はなかった。 (2)修学資金貸与者3人が、4月現在信州上田医療センターに勤務。信州上田医療センターの医師数は66人 ②医師会等との連携により、安定的に初期救急センターを運営し、医療の提供を行った。また、広報うえだで初期救急センターの利用の仕方について周知を図る。深夜の初期救急患者の受入れを医師会に委託し、輪番病院での受入体制を継続。広域連合で実施する二次救急医療機関への支援とともに救急医療体制を確保 ③市役所本庁舎等で配布。医療機関の役割について広報うえだで周知 ④広域連合主催の会議に4回出席。31年度以降も事業を継続する方向となる。財源、具体的な事業は今後詰めていく。 ⑤開催時期、内容について検討中
3	重点目標 「安心子育てのまちづくり」に向けた環境の整備と事業の推進・充実 ①上田市保育園等運営計画に基づく保育施設の整備 (1)神川地区統合保育園の整備 (2)丸子地区統合保育園（みなみ、東内、わかき三園統合）の整備 (3)老朽保育施設の長寿命化及び保育施設整備計画の策定【新規】 ②第二次上田市子ども・子育て支援事業計画策定 (1)委員選定・会議開催 (2)ニーズ調査実施【新規】 ③病児・病後児保育施設の整備【新規】 (1)左岸地区に病児・病後児保育施設を整備 ④地域における子育て支援の充実 (1)子育てサポーター養成講座開催 (2)地域の子育て支援団体との連携 ⑤子育て世帯包括支援センターの機能充実 (1)母子保健、子育てコーディネーターの連携強化 (2)地域の関係機関との連携、協働の体制づくり (3)見守りし合わせ支援事業の実施 ⑥幼保小中の連携の推進（スタートカリキュラムに向けての連携） ⑦子育て支援情報発信の充実 (1)サイト・アプリの運営 (2)子育て情報内容充実	① (1)外構工事着手（10月）竣工式（3月） (2)開発許可（2月） (3)保育施設整備計画の公表（3月） ② (1)年2回 (2)12月までに実施 ③ (1)3月末までに工事・備品等設置を完了 ④ (1)養成講座修了者15人 (2)わくわくファミリーフェスタ参加者600人 ⑤ (1)連携会議 月1回 (2)各所巡回 月2回 (3)支援者 10人 ⑥ブロック会議の開催、相互交流の実施（随時） ⑦ (1)サイト更新月10回 (2)ハンドブック更新発行、メール配信月1回	① (1)外構工事着手（9月） (2)開発許可 発注（8月） (3)保育施設整備計画のパブリックコメント募集（9月） ② (1)7月26日に第1回の会議を開催。(2)11月からニーズ調査が実施できるよう受託業者を決定した。 ③ (1)9月2日施設建設工事着工 ④ (1)養成講座修了者20人 (2)開催に向け準備を進めた。 ⑤ (1)連携会議を月1回開催した。 (2)子育てコーディネーターにより支援センターや広場の巡回を月2回実施した。 (3)利用者：5人（9月末現在） ⑥中学校区ごとのブロック会議の開催、相互交流による連携事業を実施中。 ⑦ (1)サイトの更新を毎月実施し、行政情報78件、イベント情報707件を更新した。 (2)ハンドブックを更新し、5,000部発行した。子育て情報を月1回メールで配信した。

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

健康こども未来部

【平成30年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	重点目標 多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援施策の充実 ①発達支援体制の強化 (1)発達支援事業の啓発と強化 ア ガイドブックを作成し、市民向け出前講座や小中学校等に配布 イ 市民向け発達講演会 年1回開催 (2)発達相談・支援の充実 ア 各保育園に対する相談事業、巡回指導を実施 イ 5歳児相談（支援）事業の構築【新規】 ウ 障がい加配保育士の確保【新規】 エ 継続的な支援・効果的な支援に向けて支援ノート「つなぐ」利用促進 オ 未発達な感覚を育てるため運動教室の開催【新規】 (3)発達支援に関する支援者の資質向上【定住自立圏取組項目】 ア 支援者向け研修会の実施 イ 発達支援担当保育士育成研修の実施 ウ 保育所職員に対する研修会の実施 エ 上田地域定住自立圏検討会議の開催 ②虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり (1)虐待予防の啓発活動、講演会の開催 (2)虐待予防の地域ネットワークとして、要保護児童対策地域協議会開催 ③ひとり親家庭への支援の充実 (1)就労支援情報等の提供 (2)ひとり親家庭の交流の場の提供	① (1) ア 1,800部作成、配布 イ 10月に開催 (2) ア 相談事業48回、巡回指導60回実施 イ 保育園2園で実施・検証 ウ 潜在保育士向け説明会の開催 エ 「つなぐ」の利用について広報に掲載 オ 幼児・小学生を対象。実人数20人 のべ人数100人 (3) ア 7月に開催 イ 公開保育 10/16浦里保育園で開催 発達支援担当保育士学習会5・7・1月実施 児童発達支援センター研修 8回実施 ウ 10月、11月に2回実施 エ 保育課2回、発達相談センター3回開催 ② (1) 11月までに開催 (2) 代表者会議2回、実務者会議3回開催 ③ (1)年間を通し、パンフレット等を配布 (2)親と子の交流会を2回以上開催	① (1) ア 「うえだ発達支援事業」を幼稚園保育園、学校医療機関等に6月に配布した。 イ 市民向け講演会9月8日（土）開催。参加者181人 (2) ア 保育課：相談事業36回、巡回指導38回実施、発達相談センター：幼稚園巡回相談14回実施、相談者数173人 イ 塩尻保育園・塩田北保育園でプレ実施 ウ 保育の職場体験会 10/23開催予定 エ 「つなぐ」について広報（6/1号）に記事を掲載。市内小中学校に「つなぐ」を配布した。 オ 幼児3人・小学生を対象にそれぞれ6～7回教室を開催した。（実人数6人・のべ人数39人） (3) ア 研修会を7月31日（火）に開催しました。参加者127人 イ 公開保育 10/16浦里保育園で開催予定 発達支援担当保育士学習会2回実施（6/5、7/27） 児童発達支援センター研修会7回実施（6/12・14・15・19、9/3・14・21） ウ 10/23、11/20開催予定 エ 保育課：担当者会議開催（5/11）、発達相談センター：定住自立圏検討会議2回開催 ② (1) 講演会は平成31年2月24日（土）開催予定 (2) 実務者会議6月29日（金）、代表者会議7月3日（火）に開催 ③ (1) 現況届関係書類の送付に合わせ、各種パンフレット等を送付 (2) 平成30年11月10日（土）、17日（土）開催予定
	5	重点目標 安全・安心な医療の提供と魅力・活気ある病院づくり ①安全で安心な医療の提供及び医療サービスの向上 (1)医療スタッフの確保 ②母乳育児の推進 (1)母乳率データ集積・分析による母乳率増加へのアプローチ体制の構築 (2)院内全体で取り組むための母乳育児に係る情報の共有と意識の統一 ③妊娠・出産から産後ケアまでの継続的支援体制が必要な人に対するサービスなどの提供 (1)産後ケア事業開始に向けたサポート体制の充実 (2)母乳外来の拡充（受診対象者の拡大と看護スタッフのスキルアップ 向上）【新規】 ④婦人科外来診療の充実 (1)女性の要望に応えた不妊治療等婦人科外来の充実 (2)婦人科良性疾患の手術の定期的実施 (3)子宮頸がん検診等実施医療機関としての受け入れ実施 ⑤新病院改革プランの進捗管理 (1)点検・評価の実施と見直し (2)点検・評価結果の公表 ⑥診療報酬の改正に伴う料金設定の検討・調整 (1)診療報酬改定に伴う適正料金の検証	(1)常勤医師3人体制及び看護スタッフの確保 (1)退院時母乳育児率目標90%（前年比3%UP） (2)母乳カンファレンス実施 (1)対象者カンファレンスへの参加と要支援者へのサポート (2)受入枠、受診対象者の拡大として、新患受入診察枠の新設に向けた検討と準備 (1)AIH 年間延15件 (2)婦人科良性疾患手術 8件 (3)子宮がん検診年間300件、特定健診年間30件 (1)点検・評価による財政計画等の見直し (2)運営審議会及び議会等への報告及びホームページ掲載による周知 (1)料金調査を実施し、適正価格の検証を行う。

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]